

# RACインストラクターOJT必須科目・プログラム例

科目	身につけるスキル	OJT 最小時間数(h)
RAC の理念と実践	RACインストラクターの概要と登録制度について伝えることができる	-
	RAC憲章の意義と「川に学ぶ」体験との関連性について伝えることができる ※「川に学ぶ」体験活動の理念 河川行政舎	
	RAC リーダーの体験を自己評価し、RAC インストラクターの役割について伝える事ができる	
安全対策について	RAC での安全対策、安全管理について理解し、実践できる	4.5 以上
	救急法の基本的技術を理解し、実践できる	
	活動に必要な基本的な救助技術を理解し、実践できる ※法的責任、危険予見・回避含む	
川という自然の理解	川という自然の体系的な仕組みや生態系について基礎的な概要を知り、効果的に伝えることができる	2.5 以上
川と人、社会、文化の関わり	災害時を想定した、日常の活動について認識を深める	2 以上
	RAC 会員が担える災害時の役割とその限界について認識する	
対象者となる参加者を知る	「川に学ぶ」体験活動の参加者に応じた対応のあり方を理解し実践できる	3 以上
	さまざまな対象者に応じた指導ができるようになる ※OJT では団体の活動に参加して指導実習をする(指導案づくり・ふりかえり)	
	個人情報の守秘義務を理解し実践できる	
川に学ぶ体験活動の指導法	RAC の基本的な指導法に基づきより効果的な指導ができる	3 以上
	企画、準備、実施、事後評価の指導の流れを理解し総合的な指導力を身につける ※OJT では団体の活動に参加して企画・準備・実施・判断力の養成を行う	
	指導案の作りかた・学習効果の高いふりかえり方法を身につける	
RAC の基礎技術	RAC のプログラムを指導するために効果的な技術を習得し実践できる	3 以上
プログラムの作り方	RACにおけるプログラムの考え方を理解し、企画できる ※プログラム＝指導案づくり 4h(安全配慮によるプログラム4h)	4.5 以上
合計		60 ※1

※1・RAC-OJT での必要最低時間。

※OJT は、インストラクターの登録団体で受講することが基本です。RAC 加盟団体の、多彩なプログラムと下記のような講座も OFF-JT として加算できますので、詳しくは RAC ホームページ (<http://ojt.rac.ac>) をご参照下さい。OJT プログラムへ参加する際には保険加入が必須です。

## インストラクターOJT:10日(60h以上)

インストラクターのOJTでは、補助指導やパート担当指導を実践していきます。  
RACで認める研修プログラムもRAC付加資格講座の専任講師養成や、指導的立場となる講座・検定を対象としています。  
また、OJTの全ての時間のどこかで、「RAC 5つの理念」と「インストラクター講座の全科目」を網羅することが必要です。  
目標は、何か1つは人前で指導出来る分野を持つことです。

《インストラクターで想定するOJTプログラム例》 ※RAC指定の講座以外は認められません。

○RAC関連講座及び催し

RACリーダー講座(補助講師、講師)

プロジェクトWETの指導

○自然体験活動に関連する講座(Rac認定予定講座)※水辺に関する活動の指導経験

○水辺活動に関する講座(OFF-JTプログラム)

RAC各種専任講師養成講座(Eボート指導者講習、RAC水辺のリスクマネジメント講座、RAC水辺のレスキュー講習、RAC水辺のファーストエイド講習)／レスキュー3・SRT-1／JSCA・指導者検定会、SRP／JRCA・シニア指導者検定／プロジェクトWETファシリテーター講座